



皆さま、こんにちは！

年明け1月23日に国会が召集され、第220回通常国会が開会いたしました。同日、衆議院が解散され、総選挙が実施されました。その後の第二次高市政権でも、環境大臣政務官兼内閣府大臣政務官として再任していただきましたので、引き続き政府の一員として頑張ります。

01 | 看護の働き方を議論

イベント

2月5日、ウェルビーイング時代の看護職の働き方をテーマとした「日本看護サミット 2025」に参加。

「今後の医療提供体制の変革に対応し、専門性を発揮できる看護職の働き方と必要な政策とは」と題し、日本看護協会の秋山会長、厚生労働省 医政局 看護課の習田課長と鼎談に参加しました。看護に関する諸課題については、現在も厚労省と様々な議論を重ねています。現在、国の骨太の方針などに向けた議論が始まっていますので、必要な政策が盛り込まれるように力を尽くします。

02 | 産後ケアイベント

イベント

3月5日は「産後の日」。産後ケアのイベントを発案し、日本助産師会主催で開催。産後の母親が孤立しやすい現状を社会に広く発信するとともに、助産師による継続的な産後ケアの重要性について理解を促進することを目的としています。当日は、お子さんを連れた当事者の母親の方々にも多数ご参加いただきました。



イベント様子
主催：日本助産師会



日本看護サミット 2025



03 自民党での意見交換会

議員活動

自民党青年局と日本看護連盟青年部との意見交換会。若い世代の国会議員に看護の現場の課題を理解していただく重要な機会です。青年部からは、子育て中の代替要員、身体拘束、専門性の高い看護師の評価などについてお伝えしました。多くの議員が参加し、看護に対する関心の高さを感じます。有料職業紹介、ナースセンター、転倒・転落事故の賠償責任、処遇の実態など活発に意見交換がなされました。



04 新たな議連の立ち上げ

議員活動

新たな議員連盟の立ち上げにも、事務局長として関わっています。これまで、こども家庭庁を中心にこども政策は充実してきましたが、10代後半から20代半ばの若者に対する支援が十分でないとの問題意識から、超党派ヤング・プレースレス議員連盟（会長：加藤勝信）を設立しました。

経済同友会や若者支援団体と連携し、産官民一体となって、住まいから就労まで切れ目のない支援を構築してまいります。若者が孤立や貧困に陥り、結果として犯罪に巻き込まれることのない社会の実現に向け、取り組みを進めていきます。

05 再資源化とスクラップヤード

公務 / 視察

環境省大臣政務官として、大田区京浜島の太陽光パネル再資源化企業や、埼玉県のスクラップヤードを視察しました。

国際的にも資源の獲得競争が激しさを増す中、資源の海外流出を防ぎ、国内で回収から再資源化まで完結する仕組みの構築と、不適正ヤード対策の強化が重要です。また、福島県大熊町の間貯蔵施設や双葉町の除染現場も視察しました。復興再生土の活用に向け、科学的根拠に基づく安全性の理解促進と、透明性ある情報発信に取り組んでまいります。



スクラップヤード



太陽光パネル

【参議院】

環境委員会 / 委員

こども・子育て・若者活躍に関する特別委員会 / 委員

【自民党】

厚生労働部会看護問題小委員会 / 前事務局長

こども・子育て DXPT / 前事務局長

【議員連盟】

自民党看護問題対策議員連盟 / 事務局長

終末期における本人意思の尊重を考える議員連盟 / 事務局長

超党派 ヤング・プレースレス議員連盟 / 事務局長

環境大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官

友納りお とものうりお

参議院議員・看護師・弁護士

発行：自由民主党東京都参議院比例区第六十支部

2026年4月20日



オフィシャルサイト Official site
<https://tomonoh.net/>



各 SNS から発信しております